

# まちを元気に！出張市長室 (浜松市政を語る会)

---

浜松市長 中野 祐介

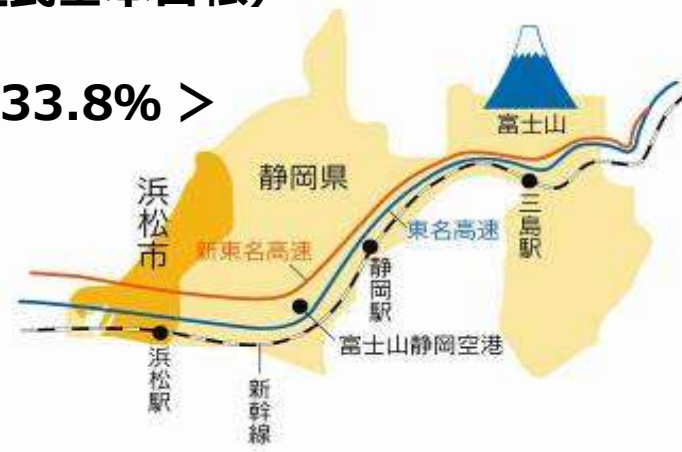
# 浜松市の人口・面積

人口：790,580人（2023年4月1日現在 出典：住民基本台帳）

面積：1,558.06Km<sup>2</sup>（全国第2位）

市域に占める森林面積の割合 65.2% <指定都市平均33.8% >

第1次産業人口割合 4.0% <指定都市平均1.0% >



## ①豊かな自然環境

- 伊豆半島より  
広い市域に山、  
川、湖、海あらゆる  
自然がある
- 豊かな開放空間



## ②中部地方第二の都市

- 中部地方で名古屋に次ぐ  
第二の都市（約80万人）
- 基本的な都市機能は完備  
都市から来られた方が不便  
さを感じない



## ③良好な交通アクセス

- 大都市圏への  
アクセスの良さ
- 二拠点居住、  
二拠点活動に  
もってこい



## ④寛容な風土・市民性

- 「よそ者」に寛容で、開放的
- 産業の功労者も市外出身
- 多くの市外出身者による  
ベンチャーコミュニティ
- 外国人は重要なパートナー



浜松は日本一暮らしやすい街

## 政令指定都市 幸福度ランキング

日本総研が、どの都市が幸福度が高いかを  
47の指標で分析

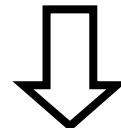
2018年:総合第1位 2020年:総合第2位 **2022年:総合第1位**

## 健康寿命

厚生労働省の研究班が、3年に一度、政令指定  
都市・特別区の健康寿命を調査

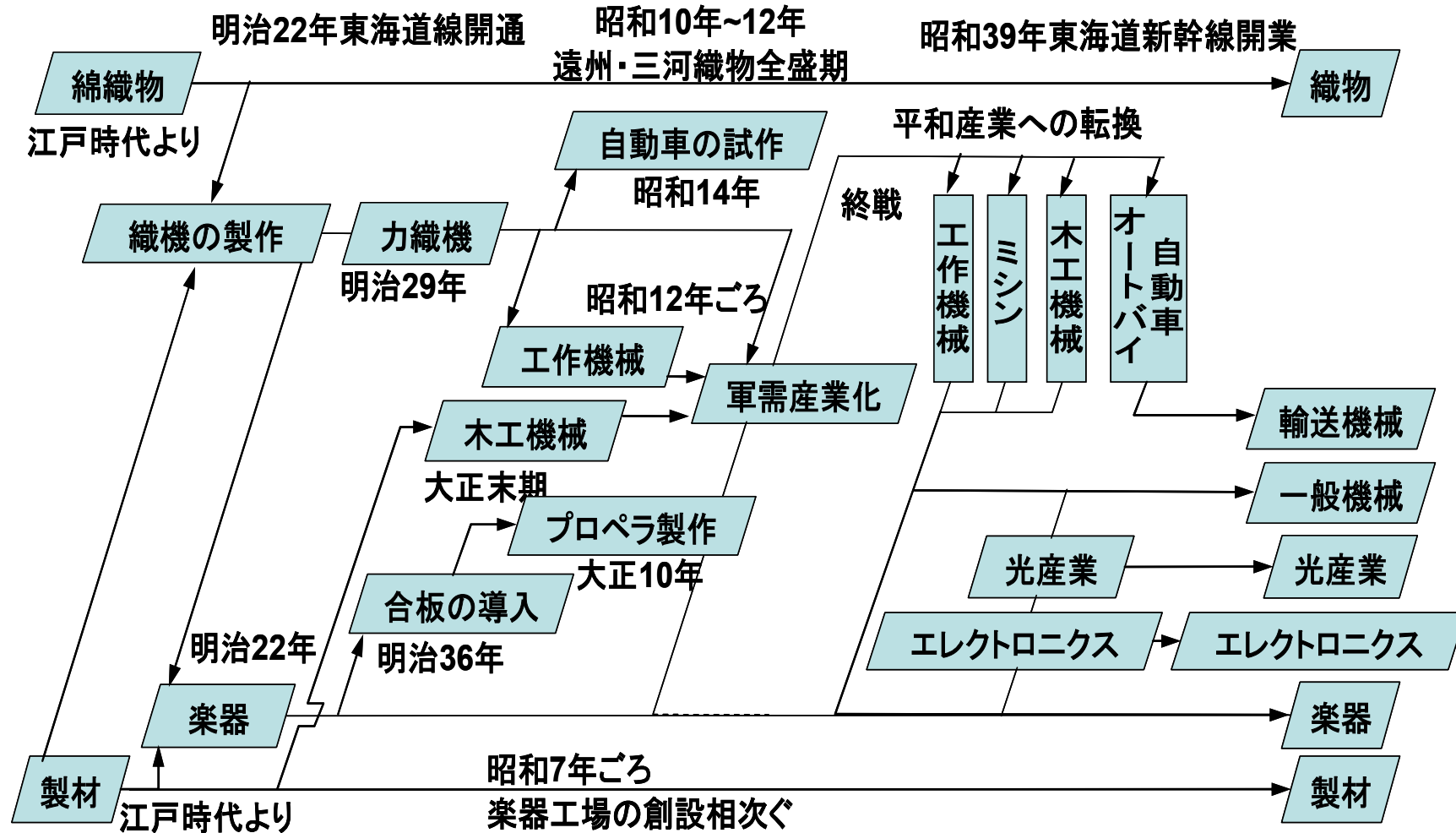
2010年,2013年,2016年 男女とも3期連続1位

2019年 男性4位 女性4期連続1位



日本一市民が健康で幸福に暮らせる街

# 浜松地域の産業発展の系譜



## 浜松のDNA「やらまいか精神」

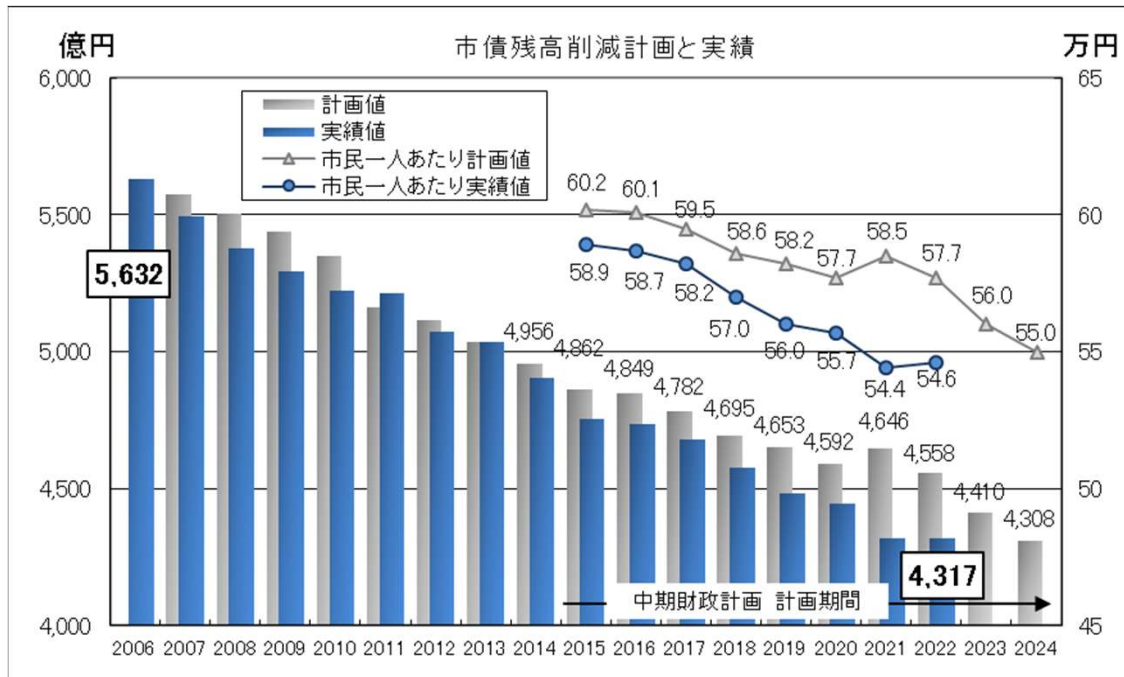


The map shows the Hamamatsu region with callouts for major companies: 豊川市 (Toyokawa City) - 浜松ホトニクス (Hamamatsu Hotonix), 豊橋市 (Toyohashi City) - トヨタ (Toyota), 湖西市 (Kosai City) - ホンダ (Honda), 浜松市 (Hamamatsu City) - ヤマハ (Yamaha), 磐田市 (Iwata City) - ヤマハ発動機 (Yamaha Power Equipment), 袋井市 (Fujikawa City) - ヤマハ発動機 (Yamaha Power Equipment), 田原市 (Tsuru City) - スズキ (Suzuki), 掛川市 (Kakegawa City) - カワイ (Kawai), and 袋井市 (Fujikawa City) - ヤマハ発動機 (Yamaha Power Equipment).

Below the map are logos for YAMAHA, KAWAI, TOYOTA, SUZUKI, HONDA, YAMAHA, and HAMAMATSU. Below the logos are portraits of the following individuals:

- 山葉 寅楠 (Yamae Tominori)
- 河合 小市 (Kawai Koichi)
- 豊田 佐吉 (Toyoda Sakichi)
- 鈴木 道雄 (Suzuki Michio)
- 本田 宗一郎 (Honda宗一郎)
- 川上 源一 (Kawakami Gen'ichi)
- 高柳 健次郎 (Takayanagi Kenjiro)

2022年度末市債残高 **4,317** 億円 (前年度比0.02億円の減)



- 2022年度末市債残高は**4,317**億円  
市民一人あたりの市債残高は**54.6**万円
- 中期財政計画の2022年度計画値  
57.7万円以下を達成

### 【一人あたり市債残高】

順位	市名	残高(万円)
1	相模原市	47.8
2	さいたま市	52.7
3	<b>浜松市</b>	<b>54.6</b>
	政令指定都市平均	96.1

※2022年度末の全会計(2023.8月時点速報値)  
※人口は2023年3月末日時点の住民登録者数

- 市債残高は2006年度から2022年度までの16年間で1,315億円(23.3%)の減
- 市民一人あたりの市債残高は政令指定都市の中で3番目に少ない
- 中期財政計画(2015年度～2024年度)の目標は、一人あたり市債残高を2024年度末までに55.0万円/人以下

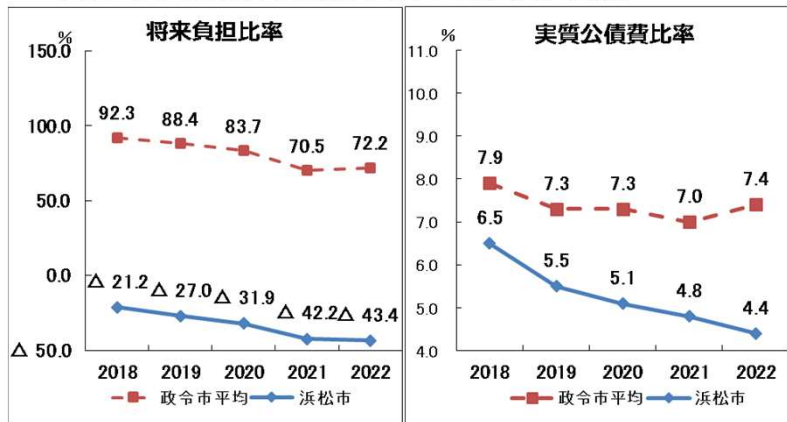
# 財政の健全性～政令市比較～

## 財政状況の健全性は、政令指定都市の中でトップ水準

(単位: %、ポイント)

項目	2022年度 A	2021年度 B	増減 A-B	早期 健全化 基準
実質赤字比率	黒字	黒字	-	11.25
連結実質赤字比率	黒字	黒字	-	16.25
実質公債費比率	4.4	4.8	△ 0.4	25.0
将来負担比率	- (△43.4)	- (△42.2)	- (△1.2)	400.0

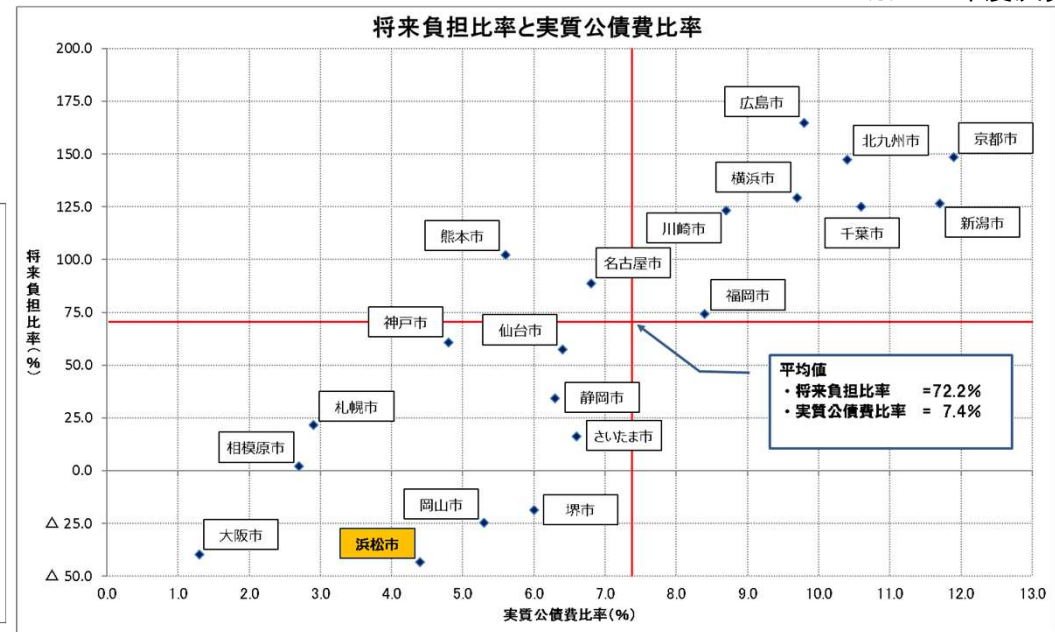
※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示  
参考に ( ) 内に上回る額の比率をマイナス (△) で表示



※2022政令市平均は2022決算速報値の単純平均

- ・ 早期健全化基準より大幅に低い健全な財政運営を維持
- ・ 実質公債費比率及び将来負担比率は平均を下回る。特に将来負担比率は、政令指定都市で最良値

※2022年度決算



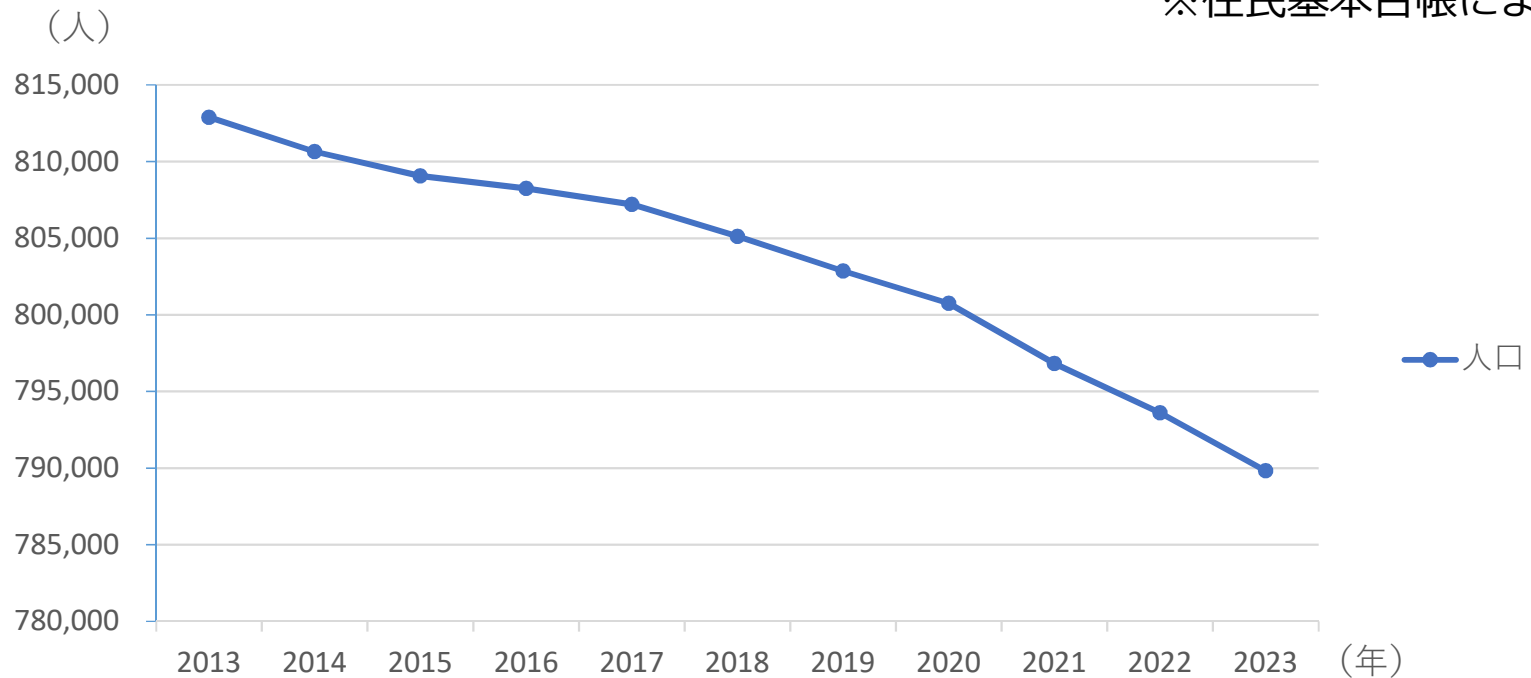


# 人口の推移（各年10月1日現在）

浜松市の人口は、**過去10年一貫して減少傾向**

※外国人を含む

※住民基本台帳による



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
人口	812,888	810,642	809,065	808,249	807,199	805,110	802,856	800,760	796,829	793,615	789,822

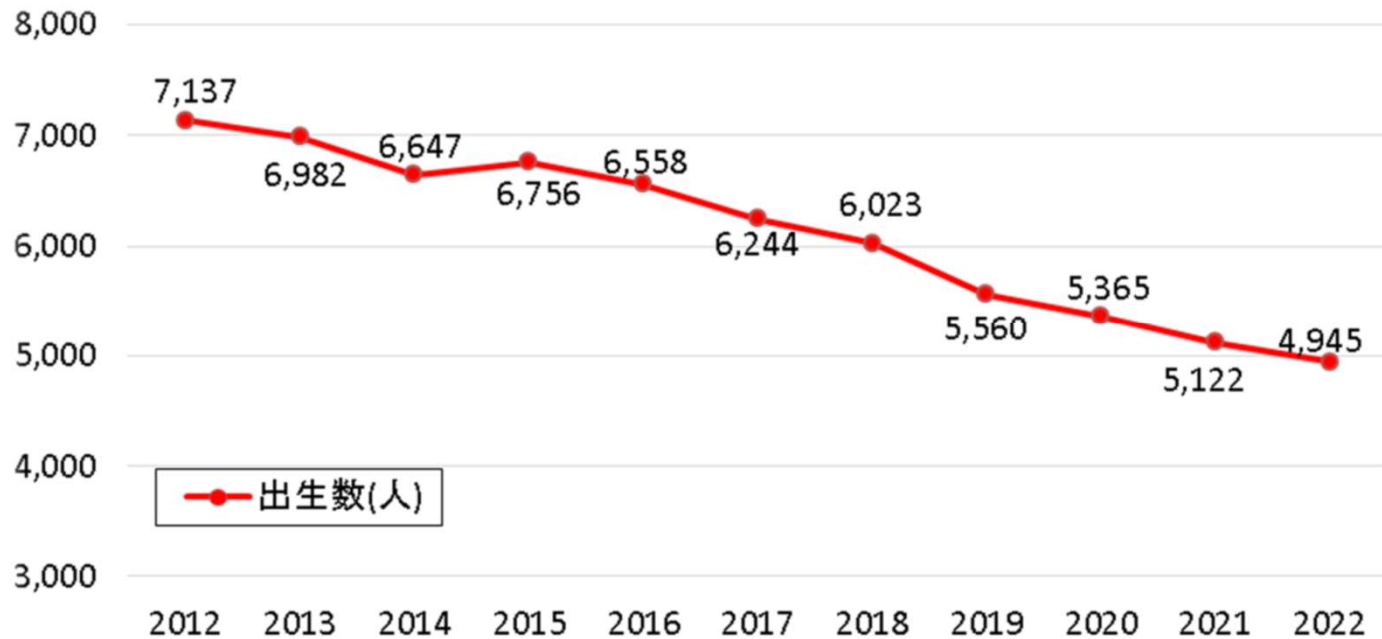
出典：浜松市統計情報「区別・町字別世帯数人口一覧表」

# 出生数

2022年の出生数は、**10年前より約2,200人、約3割減少**している。

(人)

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
出生数	7,137	6,982	6,647	6,756	6,558	6,244	6,023	5,560	5,365	5,122	<b>4,945</b>



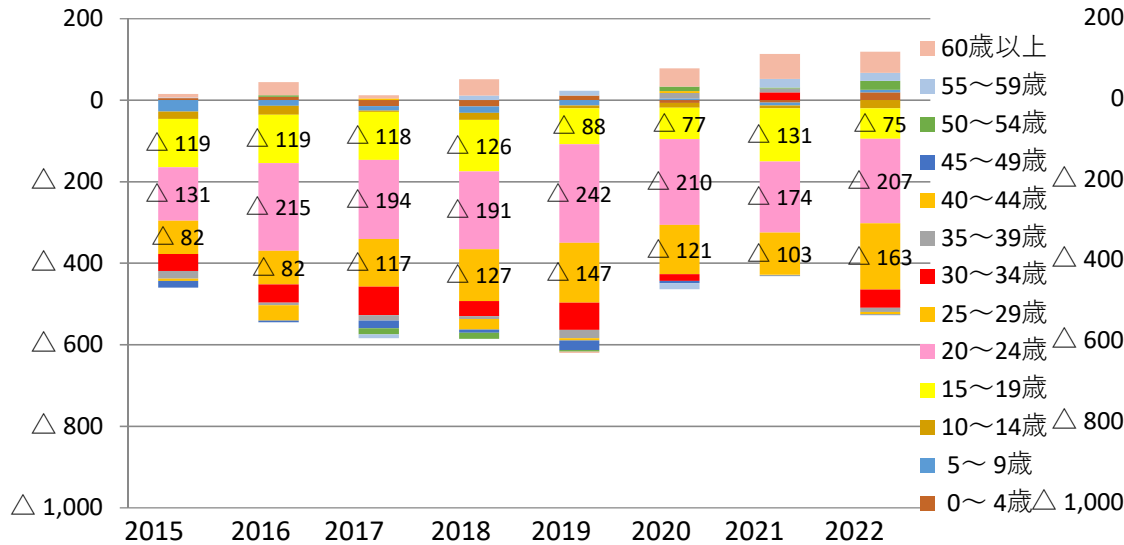
※厚生労働省  
人口動態統計（確定数）

※日本人のみ

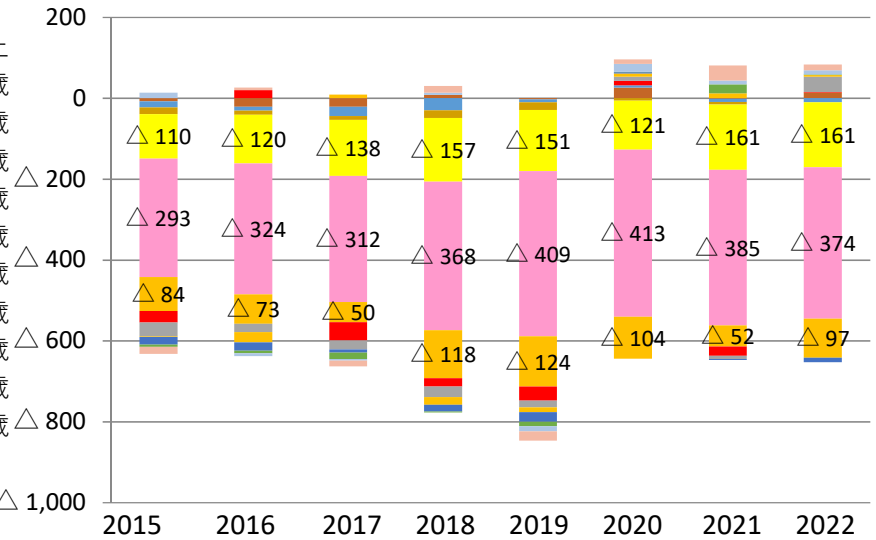
# 東京圏との社会移動

東京圏との社会移動は、転出超過の状況が続いており、2015年以降の転出入の状況を年齢階層別に見ると、特に**15歳以上29歳以下の若年層**は男女ともに転出超過が大きい。

【男性】浜松市の東京圏からの転入者数と東京圏への転出者数の差



【女性】浜松市の東京圏からの転入者数と東京圏への転出者数の差

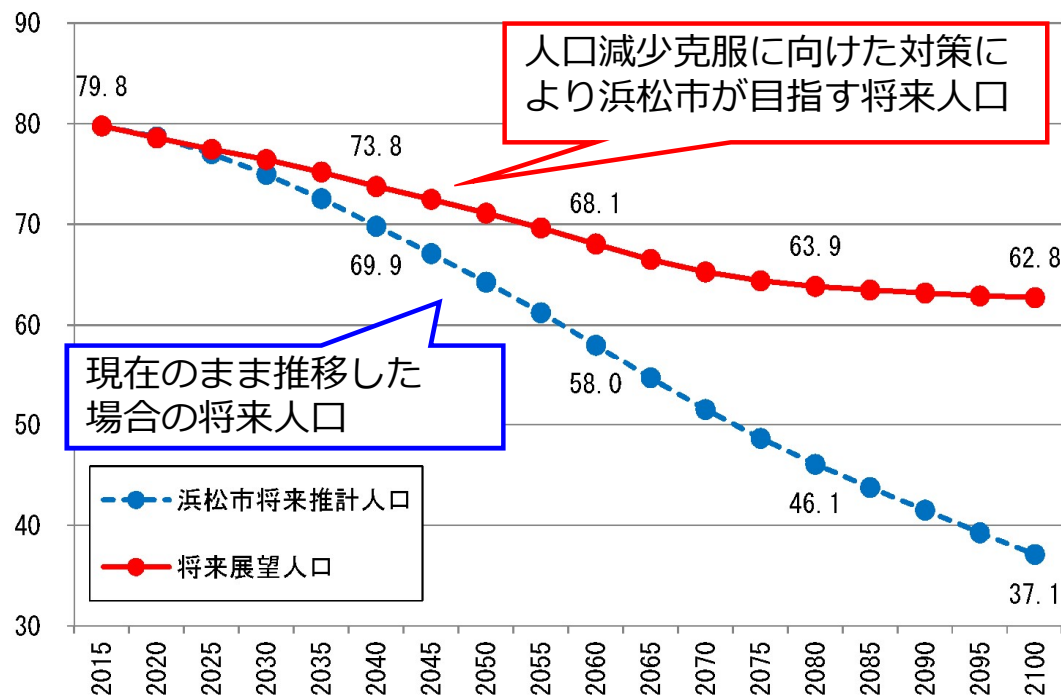


資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

# 第2期浜松市“やらまいか”総合戦略

## 目標

合計特殊出生率の上昇：2024年に1.84、2040年に2.07とする  
東京圏との社会移動の均衡：2024年度に東京圏との社会移動を均衡させる



○浜松市が目指す将来の人口  
(将来人口展望)

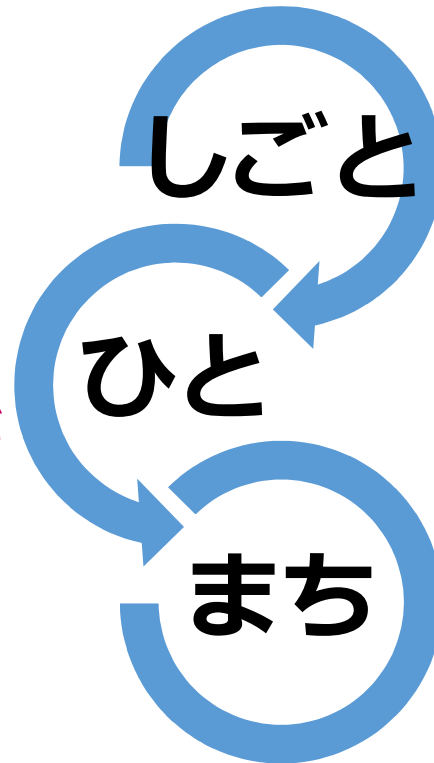
**2040年:73.8万人**  
**2060年:68.1万人**

戦略的な  
施策の  
実施

○現在の出生率、移動率などが  
このまま続いた場合



- ・切れ目のない子育て支援
- ・将来を担う子どもを社会全体で育てる
- ・健康長寿で活躍



- ・産業人材の確保
- ・稼ぐ力の強化
- ・働く場の創出



- ・観光、食、文化・スポーツにぎわい・魅力あふれるまち



まち・ひと・しごとの一体的・総合的な創生



「元気なまち・浜松」を実現し、人口減少からの脱却・転換を図る

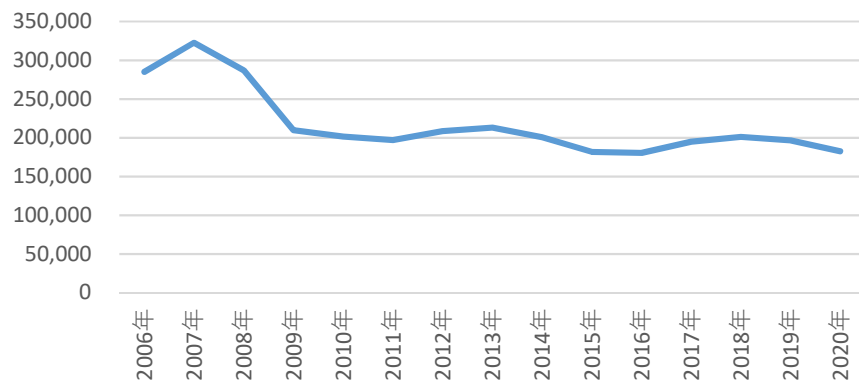
## 成長7分野※への新事業展開を重点支援、 地域中小企業の稼ぐ力の強化（デジタル人材等の育成）

※次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、環境・エネルギー、光・電子、デジタル、ロボティクス

### 現状

- ・製造品出荷額は低迷 **18,237億円**
- ・労働生産性が減少傾向 **10,164千円**
- ・地域企業の新事業展開は **17.1%**（次世代輸送用機器分野）

製造品出荷額等 [千万円]



### 施策

- 次世代自動車センターによる地域企業の次世代自動車関連部品の開発支援強化
- 次世代モビリティ研究開発への参画
- 地域産業をデジタルで牽引するZ世代の育成
- 産学官連携による産業人材の育成・スキルアップ支援強化



（次世代自動車センターベンチマークルーム）

## 若年者、女性、高齢者、障がい者、外国人など 多様な人材の活躍を促進

- ワーク・ライフ・バランス等推進事業所認証  
2019年度 88社 → 2022年度 **129社**
- 高齢者活躍宣言事業所認定  
2019年度 52社 → 2022年度 **115社**
- 外国人雇用サポートデスク相談件数  
2020年度 1,911件 → 2022年度 **2,866件**

- ▶ 働き方改革の促進
- ▶ 多様な人材活用の促進
- ▶ 外国人材の受入環境整備



## 誘致先となる新たな企業立地のための用地確保

- 市内における企業立地件数（製造業）

年度	2019	2020	2021	2022
件数	28件	21件	21件	<b>23件</b>

- 市が造成・分譲した第三都田地区工場用地において、産業用ロボット精密減速機にあって世界シェア 約60%を有するナブテスコ(株)が、全事業用地34.8haのうち18haを購入するなどし、2021年度までに完売



### 産業用地の確保

- 大規模産業用地については、公有地の活用を図るほか、開発意欲があり、開発の見込みがたつ民有地において工業系土地利用を促進
- 個別開発許可等により立地可能な小規模な立地案件については、伴走支援（企業立地コンサルジュ）

### 戦略的な企業誘致の推進

- 阿蔵山産業用地では、研究開発や先端技術による新事業に取り組む企業などの集約を目指し、コンセプトを作成
- 若い人材の確保につながるICT企業に関しては、庁内連携を図り、誘致戦略を作成

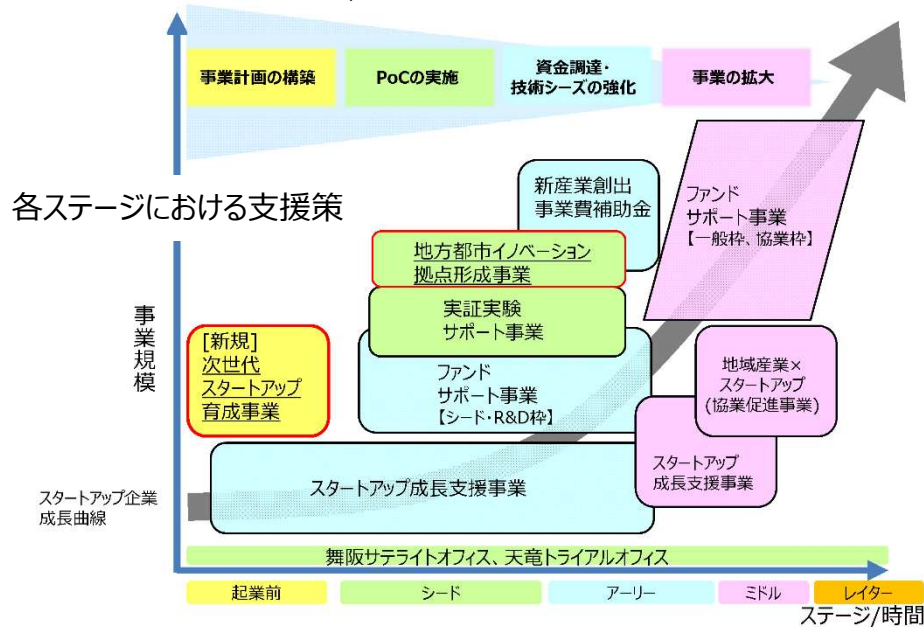




# スタートアップと地域企業の融合

## スタートアップが生まれ、育ち、集まる スタートアップ・エコシステムの実現を目指す

- ◇ 多様なスタートアップが生まれ成長する環境づくり
- ◇ 地域企業とスタートアップの融合によるイノベーション創出
- ◇ スタートアップや企業の戦略的な誘致



- スタートアップ創業数  
 基準値 10社 → **2022年度 22社**
- 市内スタートアップ等と企業・大学等との  
 新規連携件数  
 基準値 25件 → **2022年度 33件**
- 市外からのスタートアップ進出数  
 基準値 4社 → **2022年度 19社**

※基準値…2018.10～2019.9の実績

## 持続可能な農林水産業に向けた振興施策の推進

農業産出額全国7位

### チャレンジ・工夫で もうかる農業を実現

- スマート農業の促進
- 農地の集積・集約化による作業の負担軽減や効率化
- ユニバーサル農業の普及・発展
- 農産物の高付加価値化



FSC認証取得面積全国1位

### 育てる林業から 売る林業への進化

- 天竜材（FSC認証材）の地産地消・地産外商の推進
- スマート林業の促進
- カーボンプレジット創出による森林価値の最大化



### 水産業の 安定的発展を推進

- スマート水産業の促進
- 多種多様な魚介類を育む水産資源の管理・保全活動を推進
- 水産物の認知度向上とブランド化

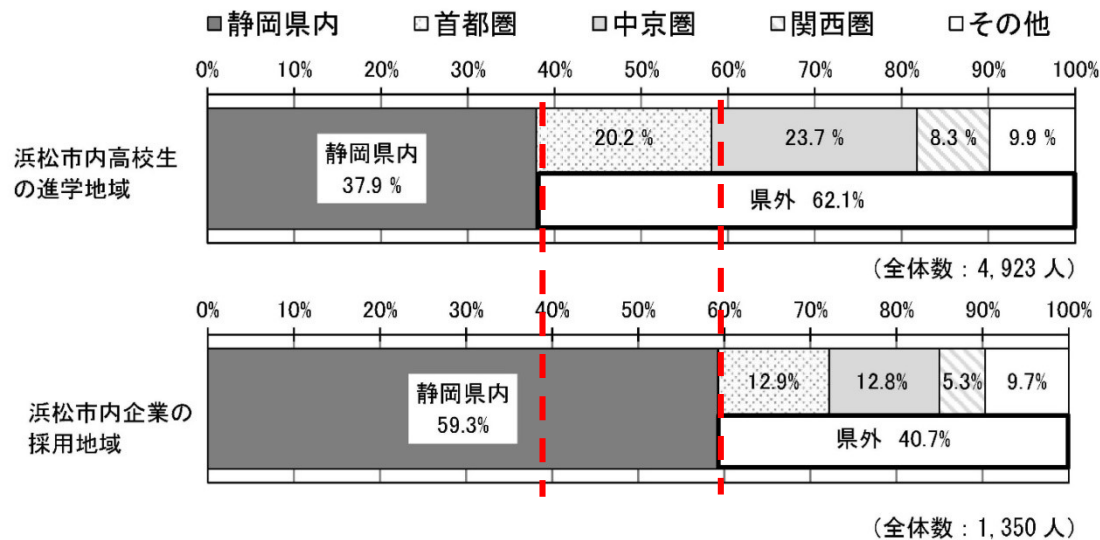


# UIターン就職の促進

## 企業と学生とのマッチング支援 企業の魅力発信を強化



図表 9-1 浜松市内高校生の進学地域と浜松市内企業の採用地域の対比



- 奨学金返還支援事業の強化
- 就職活動にかかる交通費等の助成
- 浜松商工会議所と連携し市内企業に精通した相談員の派遣
- WEBサイト「はままつ就職・転職ナビ JOBはま！」での市内企業の魅力発信
- 次代を担う世代（小・中学生）へ世界に伍する地域企業の魅力発信強化

# 「こども家庭センター」の開設

地域活性（まち）

子育て・教育・暮らし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



2024年4月～ 子育てのワンストップ窓口

**「こども家庭センター」を市内7か所に設置！**



妊娠・出産・  
子どもの発育  
発達に関する  
ご相談も！

**全ての妊産婦、子育て世帯などの相談支援を実施**

- ◆ 母子保健・児童福祉に関する相談
- ◆ 子育てに関する情報提供
- ◆ 支援内容を明記したサポートプランの作成
- ◆ 保健指導・健康診査、関係機関との調整 など
- ◆ 地域の子育て資源の開拓



子育ての悩み、子育てに関する支援制度  
などのご相談も！

**切れ目のない子育て支援を実現！**

**相談内容に応じて、さまざまな浜松市の支援メニューにつながります**

例) 産前産後ケア、訪問支援事業、子育て支援ひろば、こども食堂、障害児支援 等

# 子ども医療費無償化の拡大

**子ども医療費助成の充実で、安心して子育てを！**

## □浜松市の子ども医療費助成

		乳幼児医療費助成		小・中・高校生世代 医療費助成
年齢		0歳	1歳～就学前	小1～18歳
自己負担	入院	無料		無料
	通院	無料 (時間外除く)	500円/回 <b>無償化</b> を検討	500円/回
時間外診療		助成対象 (通院500円/回)		助成対象外

➤2024年4月～

**就学前までの乳幼児の通院**  
(時間外診療を除く)の医療費  
**無償化**に向け、準備を進める

※ひとり親家庭等医療費、重度障害者（児）医療費の助成制度においても、子ども医療費と同様に、就学前までの乳幼児の通院無償化に向け、対応する。

# 放課後の子供の居場所づくり

地域活性（まち）

子育て・教育・暮らし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



## 子育て世代が安心して働くことができる 子供の安全な居場所づくり

### 【放課後児童会の状況】

- ・ 定員数

2020年度 6,558人 → 2023年度 **7,644人**

- ・ 登録児童数

2020年度 6,371人 → 2023年度 **7,233人**

- ・ 待機児童数

2020年度 495人 → 2023年度 190人

➤行政・地域・学校・企業が連携した  
環境づくり

➤多様なニーズに対応するための、  
民間活力の導入も視野に入れた  
居場所づくり

学校施設や近隣の公共施設などの活用、  
専用施設の整備により定員拡大



## 若い世代の男女が、自身の健康に関心を持ち、 健康的な生活を送ることを促進

- 女性の体に妊娠・出産に適した時期があることを知っている  
10代：約**6割**、20代以降：約**8割**
- 適正な体重の女性（中学3年生）の割合  
2016年度 90.5% → 2022年度 **89.0%**



- 中・高校生、大学生、20代の若い世代の男女を対象に、「未来の自分を考える講座」を実施
- 保育園、幼稚園の就学前の保護者等を対象に「次世代につなげる食生活講座」を実施

※プレコンセプションケア

若い男女が将来のライフプランを考えて、  
日々の生活や健康と向き合うこと

# 産後の子育て環境づくり

地域活性（まち）

子育て・教育・暮らし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



産後ケア事業で、支援を必要とする全ての産後の母子が  
安心できる産後生活のスタート、孤立しない育児

産後ケア利用実人数

2020年度 734人 → 2022年度 **1,573人**



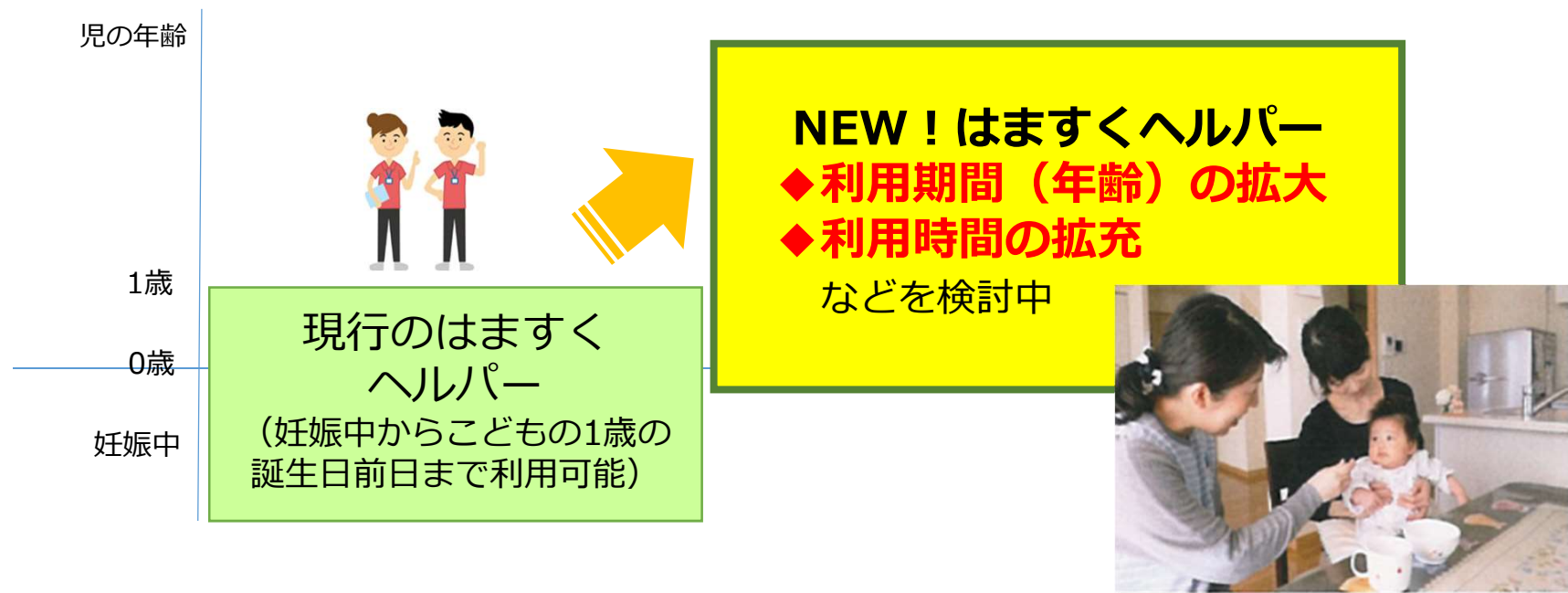
- 分かりやすい制度周知
- 全妊婦に対し妊娠期から産後ケア事業の情報提供
- 関係機関と連携し、産後ケアサービスの質の向上



# 訪問支援事業の拡充

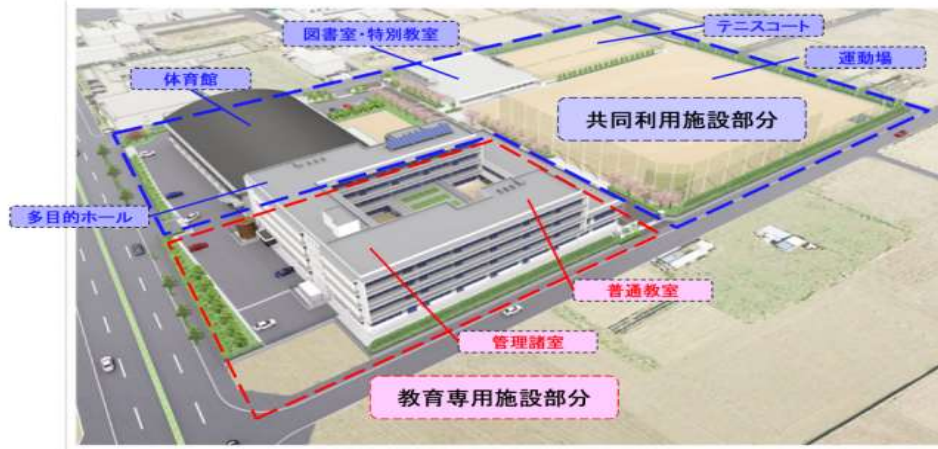
～浜松市での子育てを応援～

## 子育て支援ヘルパー制度の拡充により 子育て家庭の負担や不安を軽減！



## 新しい時代の学びを実現する学校施設を整備

- 人口減少に伴う教育行政の非効率化、都市間競争の激化
- 学校施設の**7割**が老朽化（施設維持・更新経費の増大）
- ICT教育、インクルーシブ教育、地域利用促進など、新たなニーズへの対応
- 施設老朽化対応と新時代に対応した教育環境整備の一体的な推進



- 安心・良質・身近な子育てを実現する魅力ある教育環境の整備
- 学校規模適正化の推進
- 施設の集約化・複合化・共有化・拠点化等による効率化・高機能化
- トータルコストの縮減、予算平準化

⇒ **2024年度末を目途に新たな学校施設整備計画を策定**

# 健康寿命の延伸

地域活性（まち）

子育て・教育・くらし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



## 予防・健幸都市（ウェルネスシティ）の実現に向け、2つの官民連携組織で、健康事業や健康産業について活動

予防・健幸都市とは、市民が病気を未然に予防し、いつまでも健康で幸せに暮らすことができる都市

- 健康寿命**日本一**

（厚生労働科学研究による大都市別調査<2016年ほか>）

- 政令市幸福度ランキング**第1位**

（2022年版日本総合研究所調査）

[官民連携組織]

- ・浜松ウェルネス推進協議会

- ・浜松ウェルネス・ラボ

[主な事業]

- ・公式ヘルスケアアプリ“健幸クラブ”の運営

- ・減塩・野菜摂取等の促進キャンペーンの実施

- ・健康経営優良法人認定サポート

- ・ウェルネスアワード表彰

### 健康 × 産業 = 地域の持続的発展

本市の強み（健康寿命、産業力、産学官の連携等）を活かし、全国共通の課題（人口減少による労働力不足、超高齢社会における社会保障費増等）を解決

- 市民の健康増進（健康寿命の延伸）

- 地域企業の健康経営の促進

- ヘルスケア産業の創出



フレイル予防“栄養はなまる弁当”の完成披露

# 移住定住の促進

地域活性（まち）

子育て・教育・暮らし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



28

## 地域の担い手確保や地域活性化に向けた移住促進

- 地方移住希望者  
推計309万人（ふるさと回帰支援センター調べ）
- 本市の移住者数  
19世帯 37人  
(2017年実績)



**259世帯651人**  
(2022年実績)

- 移住コーディネーター等による充実した相談対応
- 首都圏での移住相談会の実施
- 浜松商工会議所と連携した就職支援
- 移住に伴う住宅取得等にかかる助成支援
- 中山間地域の担い手確保に向けた移住支援策



## デジタル技術を活用した戦略的なシティプロモーションを推進

地域ブランド調査2022（ブランド総合研究所）

■ 認知度ランキング：全国**32**位

■ 魅力度ランキング：全国**50**位

### 「出世の街 浜松」プロモーションの推進

- 大河ドラマ「どうする家康」放送を活用したプロモーションによって向上した認知度をさらに高め、家康公ゆかりの地「出世の街 浜松」の都市ブランドを確立

### デジタル技術の積極的な活用

- デジタルマーケティングやメタバース等のデジタル技術を積極的に活用したプロモーションを展開し、事業効果の可視化と効率化を推進



出世の街 浜松



## 観光地域づくり法人（DMO）と連携とした観光関連産業の振興

### ■観光交流客数(人)

区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
観光レクリエーション客数	19,009,054	16,467,280	17,087,615	8,847,270	10,635,634	12,579,975
宿泊客数	2,348,217	2,342,703	2,353,617	1,093,310	1,254,587	1,871,725
観光交流客数	21,357,271	18,809,983	19,441,232	9,940,580	11,890,221	14,451,700

#### デジタルマーケティングの活用

- ▶ 観光統計等では補足できない移動情報や検索情報などの「行動ビッグデータ」を入手・分析し、DMOや市内観光関連事業者と共有することで、戦略的な観光誘客を推進

#### インバウンドの獲得

- ▶ 有望市場におけるセールス活動を強化するため、現地連絡員（セールスREP）の増員と商談機会の増強を実施

#### コンテンツツーリズムの推進

- ▶ コンテンツを活用した観光誘客を促進するため、本市をロケ地やモデル地とする映像作品と連携したプロモーションを強化



## 官民一体となった魅力的なまちなかの形成

- 来街者の減少  
（休日歩行量：2019年度 228,134人  
➡ 2022年度 **150,958人**）
- 飲食店・小売業など商業関連事業者の業況低迷
- 空き店舗・空き床の増加  
（空き店舗区画数：2019年度 68区画  
➡ 2022年度 **113区画**）



- ソラモ・新川モール等の公共空間利活用
- 都心オフィス進出支援
- まちなか賑わい創出調査



- まちなかの機運醸成
- 魅力的な企業や事業者の集積による多様な人々が活躍する場を創出



# 中山間地域の振興

地域活性（まち）

子育て・教育・暮らし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



32

## 全ての市民が 「中山間地域は浜松の宝」と 思う魅力的な地域づくり

- 人口の減少  
(人口：2014年 35,817人 → 2023年 28,582人)
- 高齢化  
(高齢化率：2014年 39.1% → 2023年 47.0%)
- 担い手の減少



### ➤ 人の流れをつくる

～市民同士の交流から生まれる地域づくりを推進します～

### ➤ 地域を元気にする

～持続可能な地域運営の仕組みをつくります～

### ➤ 産業の力で地域を潤す

～地域資源の活用により産業を活性化します～

### ➤ 地域をプロモーションする

～地域の魅力を生かして賑わいを再生します～

### ➤ 暮らしを守る

～暮らし続けられる生活環境を確保します～



浜松山里いきいき応援隊(地域おこし協力隊)の皆さん



# 浜松国際ピアノコンクールの開催

地域活性（まち）

子育て・教育・くらし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



33



第10回優勝者のジャン・チャクムルさん

- 1991年市制80周年記念事業として開始
- 優秀な若いピアニストを発掘、育成
- 「音楽の都・浜松」を世界に発信

世界の**約40カ国**から  
おおよそ**400人**がエントリー  
前回はチケットが**完売**  
全国から**約25,000人**が来場



**第12回は2024年11月に開催！**

# プロムナードコンサート

地域活性（まち）

子育て・教育・くらし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



34



- 1984年（昭和59年）から開始
- 本市を訪れる方を音楽でお迎えする
- 音楽を通して演奏者と聴衆が交流する

なゆた浜北や天竜区等で開催する  
「出張プロムナードコンサート」  
合唱を中心とした「街かどコンサート」  
市民の多様な音楽活動を幅広く発表する  
「まちなかにぎわいコンサート」も開催

**来年（2024年）は40周年！**



# スポーツコミッションの推進

## 合宿や大規模大会の誘致

【2023年度合宿実績】

- ・ビーチサッカー女子日本代表
- ・サッカーU17ベトナム代表
- ・水泳飛込アメリカ代表 など

【2023年度国際大会実績】

- ・バスケットボールワールドカップ日本代表  
国際強化試合



## プロスポーツチームとの連携



- 交流人口の拡大
- 市の魅力発信
- 地域経済の活性化の創出

- 地域スポーツの振興
- アスリート育成

# ビーチ・マリンスポーツの推進

地域活性（まち）

子育て・教育・くらし（ひと）

産業振興（しごと・経済）



## 浜松市が有する自然環境を活かした ビーチ・マリンスポーツの推進

2018年	ビーチ・マリンスポーツ推進協議会の設立
	ビーチ・マリンスポーツ事業化計画の策定 [各地区のゾーニング] 江之島地区、三ヶ日地区・・・大会誘致ゾーン
2023年	観光CPのビーチ・マリンスポーツに関わる業務を一本化

遠州灘・浜名湖は、様々なビーチマリンスポーツが楽しめます。



## ビーチ・マリンスポーツの拠点整備

「ビーチスポーツの拠点」江之島地区ビーチコート

【イメージ】



「マリンスポーツの拠点」三ヶ日地区マリン施設

【イメージ】



# カーボンニュートラルの実現

## 2050年 脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現

- 浜松市域の温室効果ガス排出量 -

2013年度（基準年度）  
**約570万t-CO<sub>2</sub>**  
（過去）

2020年度（速報値）  
**約430万t-CO<sub>2</sub>**  
（現在） 2013年度比 24.8%減少

2050年度（目標年度）  
**実質ゼロ**  
（将来）

### ① 再生可能エネルギーの導入・利用拡大

- 多様な再生可能エネルギーの最大限の導入
- 再生可能エネルギー電源の地産地消
- 住宅・工場・事業所・公共施設等への太陽光発電等の導入 etc

### ② 徹底した省エネルギー＋イノベーションの推進

- 市民生活における省エネルギーの推進
- 事業所における省エネルギーの推進
- 住宅・工場・事務所・公共施設等のZEH・ZEB化
- 水素等、次世代エネルギーの利活用 etc

### ③ 二酸化炭素吸収源の確保

- 持続可能な森林経営
- 天竜材の利用拡大
- 森林資源の価値創造（カーボンクレジット） etc



# 家庭ごみの有料化

地域活性 (まち)

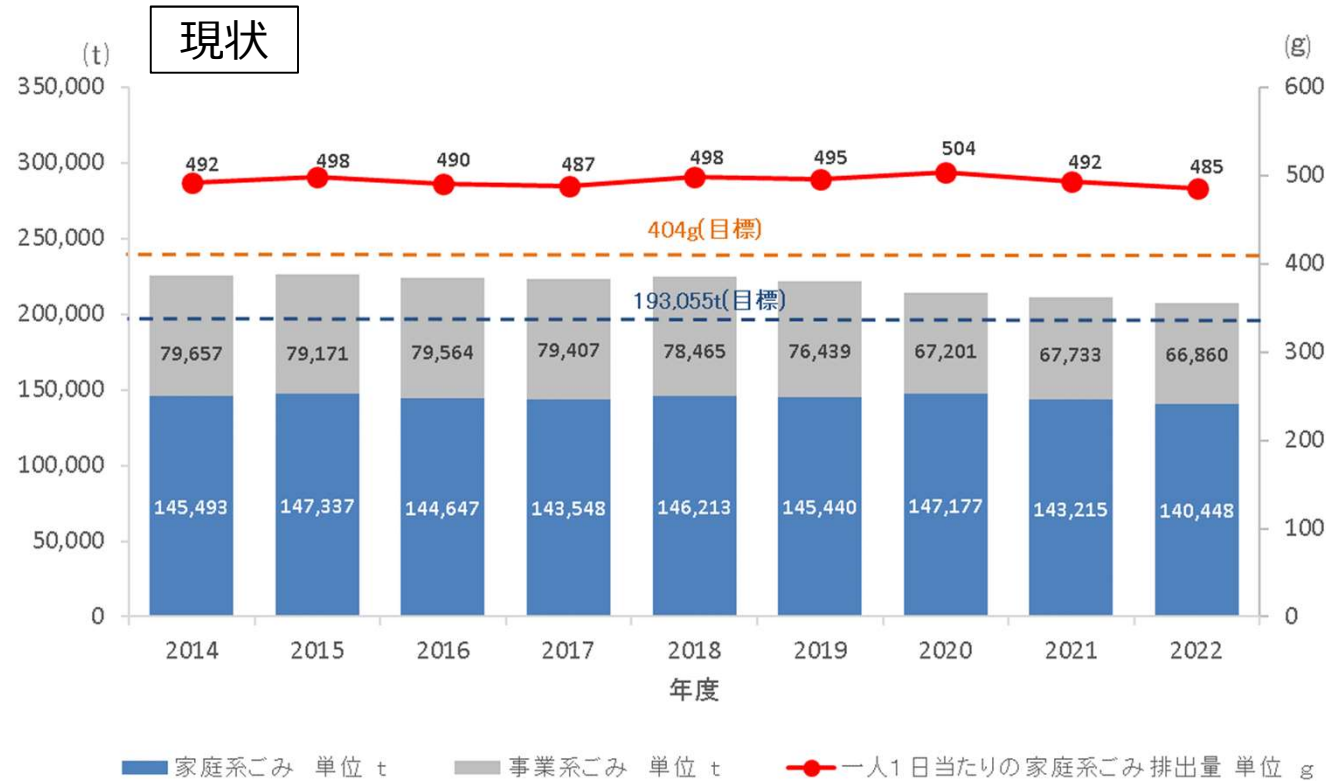
子育て・教育・くらし (ひと)

産業振興 (しごと・経済)



## 家庭系ごみの排出量は横ばいの状況が続いている

### ごみの現状と目標



### 目標

- ごみ総排出量  
(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ等の総量)

**207,308 t**

(2022年度実績値)



**193,055 t 以下**

(2028年度目標値)

- 一人1日当たりの家庭系ごみ排出量

**485 g**

(2022年度実績値)



**404 g 以下**

(2028年度目標値)



## ごみ減量施策の一つとして、家庭系ごみの有料化を検討

### 課題

- ✓ **家庭系ごみは横ばい**の状況が継続
- ✓ 啓発施策だけでは多くの市民の行動変容までには至らない
- ✓ 税金によるごみ処理は、排出量の多い住民と少ない住民とでサービスに応じた**費用負担に明確に差がつかないという不公平感**
- ✓ 住民登録地と実際の居住地が異なる等の理由により、**税負担無しでごみ処理サービスを受けるという不公平感**

### 家庭ごみ有料化制度の導入により

- 経済的な動機付けにより、**排出量の抑制が期待できる**
- 排出量に応じた手数料により、**費用負担の公平性が確保できる**

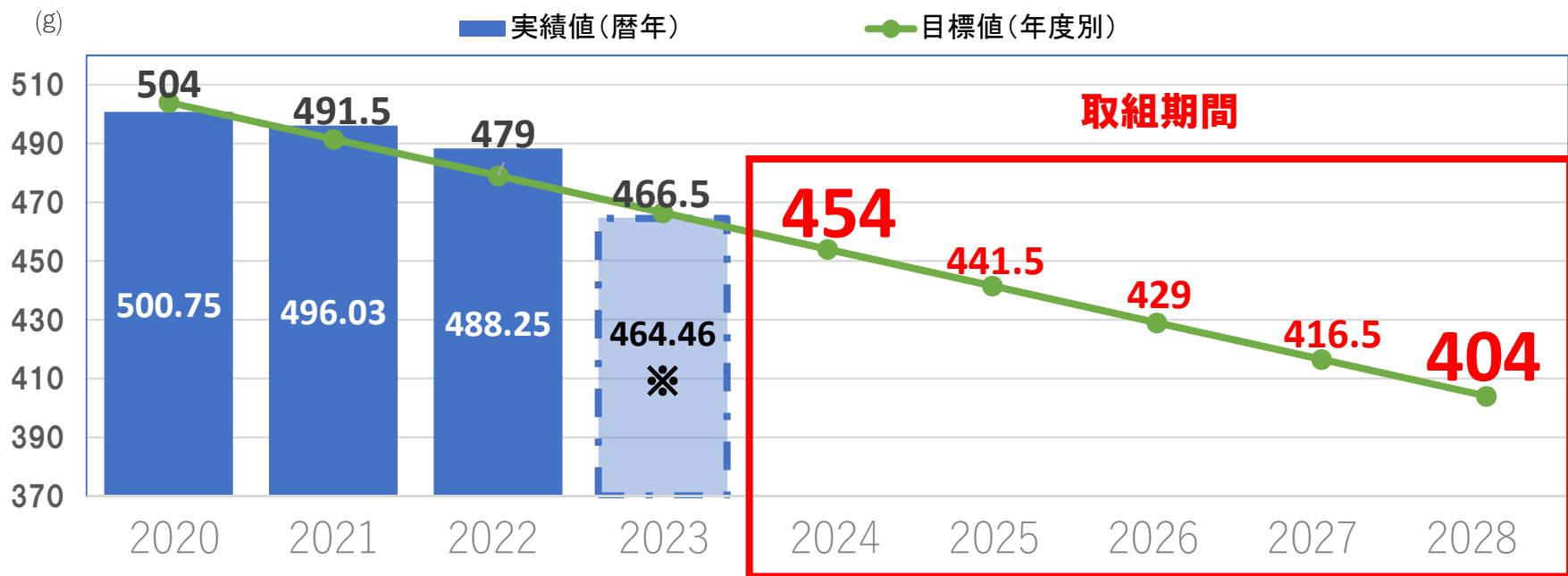


- 市民生活に与える影響が大きい為、**社会経済状況を見ながら慎重に検討する**
- 今後の方向性については、**本年中を目途に示す**

# 家庭ごみの有料化

## 家庭系ごみ排出量の目標・実績値

<一人1日当たりのごみの量(暦年/年度別)>



**2024年の目標値 454.0g** (年/年度)

※ R5年は1月～10月までの実績

**2028年の目標値 404.0g**(一般廃棄物処理基本計画による)



# 道路の防災・減災対策

- 中山間地域の国道152号や国道362号等の**道路斜面对策**
- 災害支援活動を支える緊急輸送道路の**橋梁耐震化**及び**インフラ老朽化対策**  
を着実に実施し、**強靱な道路ネットワークを構築**

近年の異常気象により  
激甚化・頻発化する  
豪雨災害



いつ起きても  
おかしくない  
南海トラフ巨大地震



膨大な施設が建設から50  
年以上経過するなど深刻  
化するインフラ老朽化



## 【道路斜面对策】

対策前



転石の状況

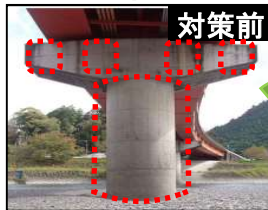
対策後



落石防護網

## 【橋梁耐震化】

対策前



落橋防止システム

対策後



橋脚巻き立て

## 【インフラ老朽化対策】

対策中



対策後

塗装塗替え



# 流域治水の推進

地域活性（まち）

子育て・教育・くらし（ひと）

産業振興（しごと・経済）

■ 2023年6月 台風第2号に伴う豪雨  
6月観測史上最大の累積雨量556mmを観測



- : 2022年9月 台風第15号等
- : 2023年6月 台風第2号に伴う豪雨
- : 校庭貯留(全24箇所)



水を流す

河川・排水路整備



被害軽減

水を貯める

貯留・浸透施設の設置



川を知る

意識啓発



流す・貯める・知るの3本柱を軸に  
対策の強化・加速化を実施

# 交通事故ワースト1からの脱却

人口10万人当たりの人身交通事故件数 14年連続で政令指定都市 ワースト1

## 交通事故ワースト1脱出作戦

目標は2025年度末までに 2500件以下

対策は **ソフト・ハード** 両面から！

交通安全教育の推進



交通安全運動街頭広報



事故の多い幹線道路への対策



通学路など生活道路への対策



AIの分析による  
危険予測箇所への対策



8年間で4割以上削減！

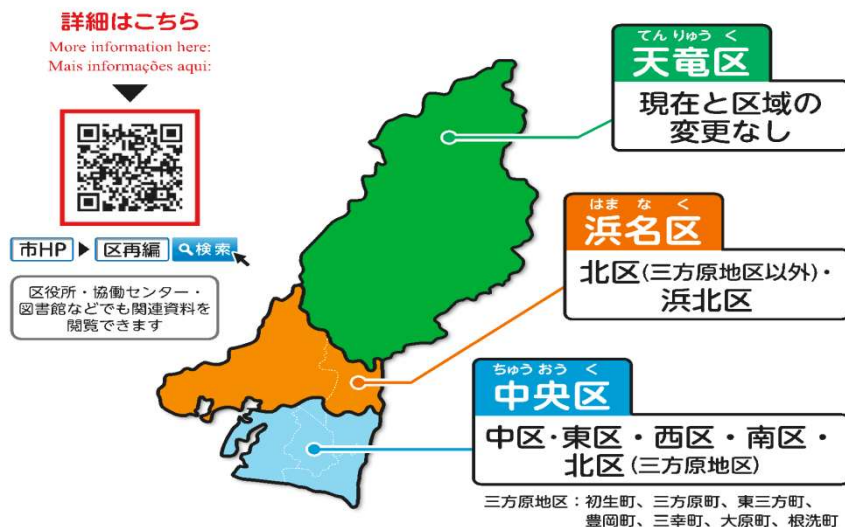
オール浜松で!!



## 2024(令和6)年1月1日、 浜松市の行政区が 7区から3区に変わります!

From January 1, 2024 the administrative wards in Hamamatsu City will be re-divided from 7 wards into 3 wards!

No dia 01 de janeiro de 2024, o distrito administrativo da cidade de Hamamatsu passará de 7 distritos para 3 distritos!



## 新たな区への円滑な 移行に向けた取組

- 広報はままつ、公式ホームページ・SNSなど、幅広い手段を活用した周知・広報

最新の情報はこちら

市HP ▶ 区再編 🔍 検索



- システム改修、案内看板の変更、関係機関との調整等による万全の準備

# 元気なまち・浜松の実現に向けて

市民、地域、企業の皆さんにも存分に力を発揮していただき

オール浜松で「元気なまち・浜松」を実現しよう



**ご清聴ありがとうございました**

